

令和5年度 平戸市立生月小学校 校内研修の全体構想

【生月小学校教育目標】

心豊かでたくましく、夢に向かって努力できる生っ子の育成



「自力解決と学び合いができる 児童の育成」

～ICT を活用した算数科学習～



【児童の実態】

- 算数科において基礎基本的な問題の正答率が高いが、応用問題になると点数に落ち込みがある。
- 学力の二極化という実態がある。
- 一人一台端末の活用について、児童の活用が十分でなく、さらに有効に活用させたい。
- 人の話を聞くことが苦手な児童や注意散漫な様子の児童が見受けられる。また、人の発言に応答することが苦手な児童もいる。

【研究において目指す児童像】

- ・進んで自分の考えを表現し、友達の考えを聞いて学ぶことができる子
- ・主体的に学ぼうとする子
- ・粘り強く問題に取り組む子
- ・ICT を活用して考えたり、表現したりできる子